

デーモン閣下の

邦楽維新 Collaboration 20年目突入!

楽器が語り、朗読が謳う! 伝統文化と現代ポップ・アート、芸術と娯楽の絶妙なるコラボレーションシリーズ新潟初開催!

妖気爛漫! 坂口安吾

安吾の名作を唯一無二の共演で表す朗読歌劇!



爛漫の桜森に漂う妖気。儚く美しき狂気。
今宵新たなる伝説をここに紡ぐ。

デーモン閣下 (脚本・朗読・歌唱) / 三橋貴風 (プロデュース・尺八)

福田栄香 (三絃・箏 及び 地唄) / 一噌幸弘 (能笛・その他) / 外山 香 (二絃・七絃 及び 箏) / 柿原光博 (大鼓) / 水川寿也 (尺八)

松崎雄一 (編曲・キーボード) / 雷電湯澤 (ドラムス) / 石川俊介 (ベース) / 田村祐子 (サウンドアート)

令和元年
10月3日

10月3日 木

19:00 開演

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 劇場

〒951-8132 新潟県新潟市中央区一番堀通町 3-2 (白山公園内)
<https://www.ryutopia.or.jp>

料金: 6,000 円 (全席指定・税込)

チケット取扱い: りゅーとぴあ、セブン-イレブン (セブンチケット)、ローソンチケット、チケットぴあ

※車椅子席はりゅーとぴあのみで取り扱います ※未就学児入場不可

チケット発売: 7月12日 (金) 10:00 ~ ※りゅーとぴあは 11:00 ~

お問合せ: BSN イベントダイヤル 025-247-0900 (平日 9:30 ~ 17:30)

【主催】文化庁 / 厚生労働省 / 新潟県 / 新潟県教育委員会 / 第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会
新潟市 / 第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭新潟市実行委員会
デーモン閣下の邦楽維新 Collaboration 妖気爛漫! 坂口安吾実行委員会
(第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭新潟市実行委員会 / 株式会社新潟放送)



デモン閣下の邦楽維新Collaboration



デーモン閣下 (脚本・朗読・歌唱)

和の伝統芸との共作は昭和時代からのライフワーク。花柳鳴氏と魔暦前11(88)年から25年間日本舞踊共演。本「邦楽Co.」は20年目で81、「能舞音楽劇『義経記』」は7年21公演に至る。16年前の録音作「When The Future Loves The Past」で三橋貴風、福田栄香両氏らと、一昨年発表の「EXISTENCE」「うただま」両作でも邦楽器を重用し一噌幸弘、外山香各氏らと楽曲制作。雅楽・稲葉明憲、琵琶・友吉鶴心、太鼓・レナード衛藤、鳴物・仙波清彦氏との共演も計60回を超える。魔暦6(04)年、五世野村万之丞遺作「怪談狂言耳なし芳一」で脚本と出演。上海万博で「文化交流大使」も執務。本年はTVアニメ「けだまのゴンじろー」ED曲制作、ソプラニスタ・岡本知高氏との異能共演「悪魔の森の音楽会」を全国で展開中。広島県がん検診啓発特使、早大相撲部特別参加。秋に49作目となるアルバムを発表しRock tourを予定。公式web site: <http://demon-kakka.jp/>

福田栄香 (三絃・箏 及び 地唄)

祖父母に尺八名手三世荒木古童・三ッの音会初代家元福田栄香、父に福田種彦(同会二代目家元)を持つ。三歳で初舞台。1988年NHK邦楽技能者育成会33期卒業、同年NHKオーディション合格。1993年第2回リサイタルで文化庁芸術祭賞(史上最年少)。1997年第6回リサイタル独奏会にて文化庁芸術祭優秀賞を受賞し、若手演奏家としての古典演奏の評価を不動のものとする。同年高崎芸術短期大学講師に就任(〜2000年)。1999年よりドイツ、アメリカ、アジア各国にて「福田千栄子アンサンブル公演」を展開。2008年文化庁文化交流使として単身で東南アジア4カ国にて活動。2009年福田千栄子改め二代目福田栄香を襲名。2010年上海万博にて公演。2014年「伝統文化ボーラ賞」を受賞。舞台、ラジオ、テレビでの演奏活動、教授活動他、伝統音楽普及活動に励む。
現在：三ッの音会三代目家元、(公社)日本三曲協会理事、生田流協会理事。

外山 香 (二十絃箏・十七絃箏 及び 箏)



三歳より伯母の手ほどきで箏を始める。川村昌子、沢井忠夫、中山いずみに師事。第30期NHK邦楽技能者育成会卒業。文化庁国内研修員修了。NHK邦楽オーディションに合格。国内で9回、海外で3回リサイタルを開催。2007年、横浜交響楽団600回記念公演にソリストとして出演。2010年、横浜で開催されたAPECレセプションにて演奏。NHK TV「芸能花舞台」に出演。ビックバンド The Swing Herd Orchestraと協演。2012年、神奈川フィルハーモニーの公演にソリストとして参加。
ソロCD「ハギオンブネウマ」は第62回文化庁芸術祭参加作品に選ばれる。現在は沢井幸典院師範。沢井忠夫合奏団員、国内外に於いて演奏活動を行う傍ら、教授活動を行う。

一噌幸弘 (能笛・その他)

安土桃山時代より続く能楽一噌流笛方一噌幸政の長男として9歳で初舞台。以後、能楽古典の世界で活躍する一方、和洋各種の笛を演奏し、デーモン閣下など国内外の様々なアーティストと共演、作曲活動を行う。その音楽はあらゆるジャンルの壁を突き破った可能性豊かな表現として注目され、2011年第24回音楽賞クラシック部門コンサート・パフォーマンスを受賞。日本文化芸術財団第二回「創造する伝統賞」受賞。2002年パリ公演、2010年上海万博公演、2012年マレーシア公演、NHK「紅白歌合戦」「スタジオパーク」テレビ朝日「題名のない音楽会」等出演。重要無形文化財総合指定保持者/公式サイト <http://issuyukihiro.com/>

柿原光博 (大鼓)



能楽高安流大鼓方。昭和47年生。父、柿原崇志に師事し、7歳「玉之段」にて初舞台、11歳「菊慈童」にて初能以降、「石橋」、「乱」、「翁」、「鷲」、「道成寺」を抜く。東京を中心とした演能活動の他に、東京、いわき、福岡で愛好者の指導も行う。
東京藝術大学卒/重要無形文化財総合指定保持者/双鷹会(そうようかい)主宰

水川寿也 (尺八)

現代邦楽作曲家連盟会員。昭和音楽大学非常勤講師。NHK邦楽技能者育成会28期卒業。1977年より都山流尺八を岡田諦山に師事。尺八を志し上京。1989年伊藤多喜雄「民謡ロック・TAKIOバンド」メンバーとしてNHK紅白歌合戦出演。2000年からは邦楽曲の作曲も始め、処女作「ブルーレジェンド」が宮城会コンクール入賞、「リープ」が現代邦楽として初めて「全日空」の機内音楽チャンネルに選ばれる。2004年テレビCMサントリー「伊右衛門」録音。2010年12月よりジャズドラムの重鎮、猪俣猛氏のコンサートにゲスト出演。2011年より全国で猪俣猛氏プロデュースによりコンサート。2013年9月「夢幻華族」のメンバーとして、東寺音舞台に出演(TBS系全国ネット放送)。邦楽曲の作曲のみならず、尺八の演奏では、洋楽器とのコラボレーション「デーモン閣下の邦楽維新」(三橋貴風企画)に参加、ものまねタレント「コロッケ」のツアーメンバーなど活動は多岐にわたる。

三橋貴風 (プロデュース・尺八)



東京に生まれる。尺八琴古流を佐々木操風氏に、普及尺八古典本曲を岡本竹外氏に師事した。1980年「三橋貴風 第一回尺八リサイタル」により文化庁芸術祭優秀賞を、81年に大阪文化祭賞を受賞し、1989年にソロリサイタルにより文化庁芸術祭賞を受賞。1992年、第10回中島健蔵音楽賞を、ソニー・レコードより発売されたCD諸井誠作曲「竹林奇譚」により文化庁芸術作品賞を、また横浜文化賞奨励賞を受賞。2009年文化庁文化交流使に任命され、ブラジル及び韓国において活動を展開する。また同年、「三橋貴風 尺八本曲 空間曼陀羅 恨(ハン)の軌跡」により文化庁芸術祭大賞を受賞。2010年、文化庁芸術選奨文部科学大臣賞を個人として受賞。同年、横浜文化賞を受賞。2011年、紫綬褒章受章。2012年、皇居の歌会始に参列。
邦楽啓蒙プロジェクト「デーモン閣下の邦楽維新Collaboration」をプロデュース展開し20年目を迎える。海外の交響楽団からのソリストとしての招聘も多く、NYカーネギーホールも含め、国内外でのリサイタルも150回を超え、日本文化の紹介、国際交流などにも大いに貢献している。現在、普及用の合成樹脂製の尺八「NOBLE管」を開発、特許を取得。またうちなー(沖縄)尺八を開発し実用新案を取得。琴古流尺八大師範。琴古流尺八貴風会家元。大阪音楽大学客員教授。

田村祐子 (サウンドアート・パフォーマー)



愛媛県出身在住。阿佐ヶ谷美術専門学校イメージクリエイション科卒業。2010年玄光社イラストレーション誌上コンペ第172回The Choice 準入選。愛媛/三津で中ムラトコに魅了され、独学の砂絵でその世界観を表現し始める。2014年砂絵と音楽のDVD「声のスケッチ」発売。以降、様々なアーティストと砂絵でコラボ。全国のライブ、イベントに出演。TVC、水樹奈々の朗読に合わせた映像作品を制作。出版物、立体、壁画などあらゆるジャンルでのイラスト制作で活動。「彼女の画風はゆるやかに変遷を重ねつつも、幼心を温めてくれる優しさ根源的な怖さにつながる闇をあわせも魅力は変わりません」(雪舟えま/歌人・小説家) <http://tatatamu8.com>

松崎雄一 (編曲・キーボード)



聖飢魔II、デーモン閣下のサポートキーボードを務める。黒船バンド=RXのメンバー。邦楽維新Collaborationには初回より参加し、三橋師範をはじめとする邦楽界の数々の一流演奏家との交流機会に恵まれている。近年は、劇団☆新感線をはじめとした演劇に関わる音楽制作、演奏の機会にも恵まれている。2017年から2018年にかけては、豊洲ステージアROUND東京にて行われた劇団☆新感線の劇団城の七人(風、月、極)にて音楽制作、メタルマックス全公演に演奏で参加。

雷電湯澤 (ドラムス)



聖飢魔IIのドラマー。デーモン閣下や黒船バンドのメンバーとは30年以上の付き合いとなり、これまで共にしたステージはこの邦楽維新Collaborationシリーズも含め、数知れず。今日も阿吽の呼吸で躍動感溢れる舞台を作りだしている。普段も、デーモン閣下のソロサポートや、17年間続いているLUKEのトリオバンド、「CANTA」でバンド道邁進中。最近ではバンドに心奪われているらしいとの巷の噂。

石川俊介 (ベース)



聖飢魔II、二代目ベーススト。グループ在籍中に雷電湯澤、松崎雄一とRXを結成し、スタジオミュージシャンとしての活動を開始。聖飢魔II解散後、是方邦邦や米川英之といったギタリストのアルバムやセッションに参加。また様々なセッション活動を通じて知り合ったメンバーと「横濱トリオ」というグループを結成。現在は「ファイアーアタック」「神崎ひさあきバンド」「Sho-ta with Tenpack riverside rock'n roll band」といった様々なジャンルのバンド、ユニットで音楽活動を重ねている。

黒船バンド



Bunka Futtotsu NIIGATA

国内最大の文化祭

第34回国民文化祭・にいがた2019 第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会 新潟初開催!!

令和元年9月15日(日)〜11月30日(土)

<https://niigata-futtotsu.jp/>

文化ふつつ新潟

